

実証事例の概要

- ・ 実証年度：令和4年度
- ・ 実証場所：香美町
- ・ 経営体名：Y農園
- ・ 栽培作物：水稻
- ・ 実証面積：40a

実証・導入の目的

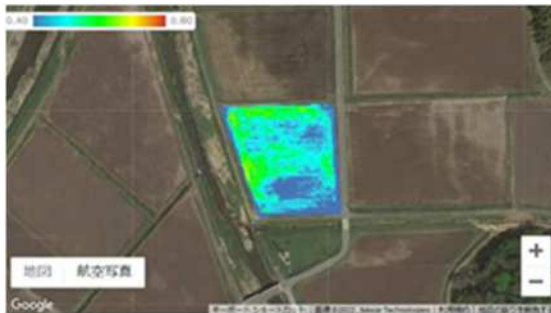
○コシヒカリ栽培で夏期の穂肥施肥は大きな作業負担となる。そこで、ドローンセンシングによって得た生育マップと連動させた無人ヘリによる可変施肥に取組、高品質・安定生産技術の確立を図った。

実証・導入した技術

- ・ 技術内容：農業用ドローンによるセンシング・肥培管理
- ・ メーカー名（商品名等）：DJI JAPAN（Phantom4）

取り組みの効果・今後の展望

- 可変施肥の実施により、慣行より平均収量が36.2kg/10a増加した。
- 外観品質が向上し、等級も慣行より高い傾向にあった。
- 技術の導入コストから5ha以上の団地化が必要。
- ☆今後、大規模面積での実証を進めることで高品質・安定生産技術の確立を進めていく。



センシングにより得た
ほ場マップ



散布作業の様子